

# 「優しいお笑い」と現代社会

— 新たな生活様式とメディア環境に適合するバラエティー番組 —

19191055

早坂 拓真

昨今のマスメディアでは人を傷つけない「優しいお笑い」がスタンダードな考え方となっている。そして、数多くの SNS も利用され、お笑いはテレビだけで楽しむものではなくなっている。本研究は多メディア化した現代で SNS がテレビのお笑い番組の視聴者にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的とする。

テレビ番組について、SNS を用いた研究はこれまでもされてきたが、その研究の少なさが課題として存在した。本研究はお笑い番組を対象とすることで、メディアの平行利用の実態を明らかにする事例研究の一つになると考える。

本研究では上記の問いを明らかにするため、Twitter に投稿されるツイートを対象に、定量的な分析と定性的な分析の 2 つをおこなった。第 2 章ではテキストマイニングでツイートの傾向と頻出語について提示した。第 3 章ではテキストマイニングの結果には表われないものの、特徴的なツイートをひとつずつ深く分析した。第 4 章では集められた批判的な投稿の種類を説明し、SNS との関係を提示した。

その結果、自分と同じ意見や考えの人とコミュニケーションを取り、安心できる「Twitter」という空間そのものと、テレビでは見ることのない SNS 上でのお笑い芸人の一面の 2 つが「優しいお笑い」を成立させていることがわかった。

しかし、本研究で利用した SNS は Twitter のみであったことが課題として残った。SNS は他にも多く存在し、それぞれ特徴も異なる。他の SNS を利用してお笑い番組についての研究を重ねることで、「優しいお笑い」についても新たな見解が生まれるのではないだろうか。